



きいんぐみだより

2020年度 8月号
尚徳福祉会生麦保育園

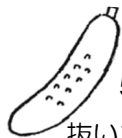
夏の日ざしが園庭を照り付け、もうしばらくの間、暑さとお付き合いが続きそうです。水遊びがだいすきな子どもたちは、毎日「みずあそびする？」と水風船や水てっぽうで遊ぶことを楽しみにしています。安全に楽しめるよう水分補給や休息を十分に取、引き続き夏ならではの遊びを楽しんでいきたいと思ひます。

～子どもの姿～

雨が降っていると「おさんほいけなないね」「みずあそびできないね」と残念そうな子どもたち。外に出られない分、運動遊びや体操遊びを元気いっぱい楽しんでます。室内の自由遊びでは、新しいおもちゃ「ワミー」がきりん組にくと、一日ですっかり虜になったようでサンダルや王冠、変身ベルトなどを自由に作って遊んでいました。ワミーの扱いに少し慣れてきた子は、付属の冊子を見てペンギンやボールを作ったり、プリンセスになりきってみたりと表現の仕方もさまざま。思い描いた物がうまく表現できなかった際には、保育者に「どうやったらいいの？」と聞いてくる子もいて、一緒に取り組み表現したかったものが完成すると嬉しそうな表情が見られました。また、7月に入り文字や数字に興味を持ち始める子が増え、「〇〇ってどうやってかくの？」「これなんてよむの？」と興味津々！自分の名前を書くことができると「できた」と嬉しそうな表情がとて可愛らしいです。保育室内にあいうえお表を用意すると、一つ一つ文字を追いつながら、真似をして書いている子どもたち。引き続き子どもたちの「やってみたい」という気持ちを大切に、自由に楽しめる環境づくりを大切にしていきたいと思ひます。



～きゅうりとお別れ～



5月上旬に植えたきゅうりの苗。天気の良い日はみんなで畑に行き、水をあげ、葉っぱを触ってみたり雑草を抜いたりして世話をしていましたが、7月に入り雨が続き緑だった葉が黄色くなり、収穫できなくなりました。お別れをしに、枯れたきゅうりの葉や実を見に行くと「なんで？」「きゅうりがくろい！」と驚いた様子の子もたち。その後、どうして枯れてしまったのかをみんなで話合い、虫や生き物と同じように植物や野菜にも命があることを伝えると、「かなしい」「もっと食べたかった」とそれぞれ思いを口にしていました。きゅうりが枯れて収穫できなくなりましたことは残念でしたが、植物や生き物の命の大切さや、食べ物への興味が広がったいい機会となったのではと感じています。きゅうりを持ち帰ることが出来なかった子も、うさぎ組からトマトを分けてもらえることになったので、楽しみにしててくださいね。

～待ちに待った水遊び～

20日に初めての水遊びをしました。朝からワクワクした様子で、水遊びを存分に楽しんでいました。プール開きでは「みずてっぽう」の歌をうたい、水遊びの際の注意点を皆で確認しました。「周りを見て走る」「おもちゃで遊ぶときは両手に持たない」等、約束を守って遊ぶ。。ことはまだ難しいようでしたが、その都度声を掛けると「そうだった」と気づいて安全に遊ぼうとしていました。8月も、お天気がいい日には安全に気を付けて水遊びを楽しみたいと思ひます。

※プールカードの記入は毎日お願いします。

※体調が優れない日は登園を

控えてください。



～食育～

* 今まで空豆の皮むきや、枝豆の皮むき、三食食品群の食育がありました。栄養士の話をきちんと聞き、感触や匂いを感じながら参加していました。皮を剥く作業では、皮の固さに苦戦していましたが、力の入れ方のコツが分かると「わかった！」とスムーズに向いている姿が印象的でした。自分たちが皮を剥いた野菜がおやつに出ると、普段野菜が苦手な子も一口は食べようとしていました。三食食品群のクイズでは、それぞれの食材の働きや効果等、バッチリ覚えていました。今後も食育の時間を楽しんでいきたいと思ひます。

